

“囉哩噠 (ルオリレン)” の詞章に関する研究

Materials for the Study about Verses "Luo Li Lian"

廣田 律子
HIROTA Ritsuko

泉州市の東岳廟で、90歳の老芸人蔡雙童が、田公元帥（相公爺）の人形を操りながら、請神の詞章「囉哩噠レンア リルオリレンア リレンルオリレンルオリレン囉哩噠囉哩噠囉哩噠レンア リルオリレンア リレンルオリレンルオリレン囉哩噠囉哩噠囉哩噠囉哩噠ルオア リルオリレンルオリレンルオリア リルオリリレンレンア リルオリレンレンア リルオリレンルオリレンルオリア リルオリレン囉哩噠囉哩噠囉哩噠囉哩噠囉哩噠囉哩噠」を唱えてくれた。

この「囉哩噠 (ルオリレン)」については、康保成が「囉哩噠與中国戲曲的傳播」⁽¹⁾において、文献の記述から唐にさかのぼる唱えごとであること、その意味として①祭祀②言祝ぎ③門付④曲調を整える、を挙げている。その曲調を整える例として、現在も伝承されている広西ヤオ（瑤）族の「還盤王願」で歌われる『盤王歌』を挙げている。さらに文献に見える囉哩人とは遊行のジプシーであったと言及している。

末尾に附録として、現在でも中国各地各民族に広く伝承されている、「囉哩噠」の事例を音譜化して示している。雲南楚雄のイ（彝）族の民歌及び彝戲、広西柳州のヤオ族の『盤王歌』、広西壮族の壮師戲、福建梨園戲、『陳三五娘』、泉州木偶戲『目連救母』が挙げられている。

筆者は現在収集に努めている広西・湖南の過山ヤオ族の事例をさらに加えることで研究資料を増すことができると考え、今回以下に整理を試みた。

事例として挙げるのは、過山系のヤオ族が行なう宗教職能者となる掛家灯及び願ほ

どき及び盤王への感謝等を行なう還家愿儀礼⁽²⁾の際に読誦される『盤王大歌』⁽³⁾に収められている「囉哩噠」である。このテキストは、宗教職能者により伝承され、末尾に中華民國三十一年癸未歲（1942年）五月十九日に抄写したという記述がある。

広西・湖南の過山瑤が行なう、還盤王愿で歌われる『盤王大歌』は七言を主とし36段または32段、または24段または18段から構成され、さらに七任曲と称される曲調を異にする7つの歌を加えて成立するとされる。

藍山県ヤオ族の事例は、七言の上下句で1頁あたり12行、全70頁からなり、構成は、起声唱・齊入席・隔席唱・論娘唱・日頭出・日正中・日落江・日落西・日落烏・日頭過江・夜深深・夜黄昏・天上星・月亮亮及び第一紅紗曲、次に天大旱・見怪歌・天暗烏・北邊暗・洪水發・雷落地・葫蘆・伏羲・洪水盡・為婚了及び第二山逢閑曲、次に造得地・置天地・唱王打水・深山竹木・唐王出世・信王出世・玉女梳頭・白涼扇・坦傘・盤王出世・石崇・富貴・琵琶頭・紗板・魯班及び第三滿段曲、次に楼上伏門・大婆女・説婚早・劉山・秀才・師人・十二遊師・烏雲生・五婆見・英台・山伯・生時・大州大・大州・老鼠・大缸・石榴生及び第四葉荷葉と四つのまとまりで成立している。

湖南省江華瑤族自治州で収集された乾隆年間の手抄本を整理した『盤王大歌』（中

国少数民族古籍瑶族古籍之一湖南少数民族古籍辦公室主編 岳麓書社 1987年)は内容が充実していると考えられるが、起声唱・日出早・日正中・日斜斜・種竹木・唐王出世・盤王出世・盤王献計・流羅子・琵琶頭・石崇富貴・歌一段・魯班造寺・梅花曲・雷落地・郎老了・彭祖歌・夜深深・大小星・月亮亮・黄条沙・天大早・天地動・天地暗・北邊暗・見大怪・相逢賢曲・造天地・万段曲・送神去・亞六曲・荷葉杯曲・桃源洞歌・四字歌・放獵狗・夜黄昏・何物歌・盤州歌・南花子曲・閩山歌・梁山伯・鄧古歌・飛江南曲から構成されている。

広西チワン族自治区の賀県で収集された『盤王大歌』(中国少数民族音楽古籍叢書之一盤承乾等收集整理 天津古籍出版社 1993年)は、起声唱・輪娘唱・日出早・日正中・日斜斜・日落江・黄昏歌・夜深深・大星上・月亮亮・黄沙曲・天大早・見大怪・北邊暗・雷落地・葫蘆暁・洪水尽・為婚了・三逢延曲・造天地・種竹木・三更深曲・盤王出世・盤王起計・富貴竜・荷葉杯曲・梁山伯歌・南花曲・桃源洞・閩山学堂歌・造寺歌・飛江南曲・何物歌・彭祖歌・梅花曲・亞六曲で構成されている。

1960年代に広西チワン族自治区大瑤山瑤族自治県三角公社で収集された『盤王歌』(広西民族学院中文系民族民間文学教研究翻印 1980年)は、起声唱・初入席・隔席唱・論娘唱・日出早・日正中・日斜斜・日落紅・日落西・夜黄昏・夜深深・天上星・月亮亮・天大早・見大怪・天地動・天暗烏・北邊暗・雷落地・伏羲姊妹・葫蘆・洪水発・洪水天・造天地・烏雲生・大盤計・小盤計・桃源・閩山学堂・魯班造寺・何物・鄧古・彭祖・郎老了・放獵狗・歌船・第一黄条沙・第二三峯寒・第三暁段曲・第四荷葉盃・第五南花子・第六飛江南・第七梅花で構成されている。

湖南資興市の宗教職能者所有の乾隆四十二年(1777年)の銘がある手抄本の『大堂書』には、起掣唱・論娘唱・○入席・隔席唱・分○唱・平平唱・日頭出・月正中・月斜斜・月落西・月落江・日頭過江・夜深蘭・夜深深・夜黄昏・黄昏・月亮・第一紅系紗曲・一片鳥・二十八後・第二圍歌曲・天太早・見怪歌・見怪路・見大怪・天柱倒・天暗烏・北邊暗・洪水発・雷落地・葫蘆歌・大州出・葫蘆熟・洪水発・洪水浸・為婚了・第二圍三逢閑曲・造得地・造得天・置天地・仰歌曲・深山竹木・唐王出世・信王出世・盤王出世・白涼扇・坦傘・盤王歌曲・盤王起計・石崇富貴・琵琶・魯班・唵囉・第三圍満段曲・出嫁早・秀才・師人・十二遊師・烏雲上・大州・英台・梁山・大舡・第四段荷葉歌曲・桃源・閩山・起造歌曲・造寺魯班・鄧古歌・遭小何物歌・第五段南花曲・唱何物歌・唱古人歌・郎老了・唱彭祖歌・唱第六段飛江南曲・唱送聖歌・舡成了・舡到水・送神去・第七段鴨六曲が並べられている。(○は不明、以降同じ)

さらにドイツバイエルン州立図書館に収められたヤオ族のテキストにも、伝承地は不明ではあるものの、同様の構成をもつものを複数確認できた。

バイエルン州立図書館蔵No.200の構成は、起声唱、日出早、夜黄昏、夜深々、大星上、月亮々、天火焊、見大怪、天地動、天暗烏、雷落地、北邊暗、葫蘆、造天地、種竹歌、大盤州、小盤州、烏雲生、梁山伯、桃源洞、鄧老、何物、郎老了、彭祖、放獵狗、送神、第一黄條沙曲、第二三逢寒曲、第三万段曲、第四何葉盃、第五南江来、南花子、第六湖江南、第七花大碗曲である。

事例 1

藍山県ヤオ族宗教職能者所有、民国期の銘のある『盤王大歌』の「第二山逢閑曲」

部分とその訳文。

「第二山逢閑曲」

廣州結子青羅結。四辺人看人鎖深線。鎖線
絲鎖線。羅里。細湾々。便是日頭初出山。
遠看便是初生月近来看。是山頭雪。桑深結
子。羅唎。滿山是且唱三逢曲。閑逢遠客来。
黄巢養女多乖巧。拿办申人鎖深鎖線。羅唎。
細湾々。便是日頭初出山。青羅頭巾〔才 +
閑〕眉過。裙条羅帶捆腰伏。滿身裝果。里
羅。四官人。正是黄巢是女人。黄巢養女能
猛勇。踏上馬背便刀。使劔使刀鎗。正是黄
巢入陣場。黄巢打破亞兒寨。十分入陣也是
敗。人頭落地。羅唎。面向東無水流来海滿
江。將錢去羅買金雞子。買歸家裡般々有般々
便々。羅唎。五更啼。啼到娘村成秀才。娘
村騎白馬。琉璃瓦便。羅利。相公宅。頭頭
戴大州紗縛絲。將錢去買黄陽鷄。買家裡。
般般叫。羅利。勞不勞。具問紅珠勞不勞。
紅絲不勞打斷条断。遠々飛上松柏樹。千聲
萬勸。羅唎。不思歸。手把空籠掛樹枝。將
錢去買沈香樹。買歸家裡无少数无沙无数。
羅唎。佛前燒。燒得沈香大路遥。當初不是
當閑事。世今差落。松柏裡一条生上。囉唎。
二条枯○林望從圖。一日飲酒二日醉。三日
不飲酒是那酒前酒成。羅唎。敗人身。酒盞
多盃初怒人。歸家說数老人聽老人說句。羅
唎。上間難。手拿琵琶馬上彈。鯉魚立刀隨
水上。隨○水埠者風浪。捕魚生子。羅唎。
鯉魚○○是深塘黄尾魚。交秋七月隨龍去。
羅唎。列龍神州一對寒風水面流。一双白馬
真。朝々請過娘門外。一人出看。羅唎。二
人看好做風流。把你看南安寺裡賤馬。反無
人人陣会人。押郎今入陣。羅唎。押相公。
無水流来滿海紅。一双燕子飛南上飛来。飛
去江華縣。江華縣裡。羅唎。口含泥。遠路
飛来不敢啼。燕子結巢官廳裡。主人有酒。
羅唎。勸郎食。便是一双燕子飛南上。飛来
飛去江華縣。江華縣。羅唎。不思歸。白紙
寫書歸報家。黄紙路遠謝客到。謝人好客。

羅唎。到郎村。坐落橈尾頭踩橈尾。緣開箱
揀出双盃盞。家中無酒。羅唎。真把空瓶斟
謝客遠路行。上方打刀接林裡宿。心々人話
過路宿。郎来宿夜。羅唎。好娘房。着双寒
一归去声傳得好。嫩開揀出苧蔴被。差人送
上客林裡。客人宿夜。羅唎。着霜寒歸去声
傳單溥鄉。當初起尾仙人造三層裡外。羅唎。
起高楼一對金鷄。在裡頭前門成門。金水步
金匙銀筋。羅唎。使金盃。正是洪爺祖基催。
出小不曾到別回。中心一条江水。羅唎。二
条沙。眼泪流々落。娘村成遠家村。娘村好
住不好住。娘村好住。羅唎。不思歸。白紙
寫書報歸家。生落娘村。清水別席中飲酒。
羅唎。看起眼便○風過。天天光早起郎歸去。
又定言語双泪流。留住大家相同伴。羅唎。
不思歸去。又宁思你思量郎路遠。黄巢頭戴
金○盃甲。金盃金甲。羅唎。脚交良。口裡
含刀手使鎗。千兵万馬去打寨。九州十縣○
是敗。人頭落地。落馬聽声。正是黄巢○○
名。黄巢龍朝仙人造仙人造子。羅唎。交把
黄巢子上抛。打破東京十二寨。殺人無看。
羅唎。血長流。正是黄巢手○高。黄巢騎上
黑龍馬。路上馬背。羅唎。口含刀。口裡含
刀去殺人。大喊三声天地動。天宿地敗。羅
唎。血淋々身。殺尽江南人無落。黄巢本是
真天子。天生天子。羅利。降凡間。不得閑。
頭戴金盃。着金甲子抛龍劍。羅利。進州庭。
進了州庭千万年。天順二年黄巢反。黄巢作
反。羅利。置刀鎗入買。入得刀鎗入陣場。
二月十五去打寨。凄離二散。羅利。断肝腸。
殺尽君民歸本鄉。黄蜂結聞門楣下。老偷吃。
羅利。二人看。思着黄蜂○。結開門楣下。
老陀歸舖。羅利。賣黄金。賣得黄金歸定親。
將錢去買青藤買。歸家裡裝娘嫁裝。娘出嫁。
羅利。嫁人鄉。嫁落人鄉不望歸嫁。落人鄉
成人。我手拿禾秆。羅利。一帶掃人家。正
是人家親房內裡花。黄桑葉落門楣外。前門
家下。羅利。嫩桑絲。七月含花正着時。黄
巢養女金花朵。羅利。插蓮花。有日風吹到

係家。郎在湖南裙名伏夜眠不睡。羅利。無衣遮。郎正睡寒冷無衣遮。坐落橈頭橈尾傳。手拿酒盞。羅利。双流眼泪双々。羅利。淚双流泪双流落酒盞。将錢去买詩官。我買歸家裡。羅利。嫩桑絲。七月開花正時。着時七月八月花落。邪風吹花却落四辺。姊妹相邀齊手連。有錢去买大州傘。買歸家裡外人看。外人出看。羅利。傘多絲。姊妹相邀齊手連。今年又逢人買還願。担来娘屋。羅。是流落細傘門門都是花。○錢去买大州笛。買歸家裡好声気。好声好気。羅利。氣愁々。吹得嬌娥心裡愁。今年又逢人還願。同声吹出。羅利。是風流。正是風流出遠郷。将来出買大州帶。買歸家裡外人看。外人出看。羅利。好細係。思量買得難。今年又逢人還願。中廳得出。羅利。断肝腸。正是風流出遠郷。将錢去买白涼扇。買歸家裡好花朵。好花好朵買。羅利。好意○。○○石榴花朵紅。正月二三月人来橘去。羅利。向空中。姊妹相邀難得逢。将錢去买長沙紙。買歸家裡無沙数。○沙○看。羅利。上願章。上得願章籠裡外。今年又逢人還願。中廳揀出。羅利。交把師父把師人。鈎願頭

「第二山逢閑曲」

広州の結び目は青い絹糸で作ったものだ。周囲の人達は絹糸で結び目を作っているのを見る。絹糸で結び目を作る。細かく絹糸を結ぶ。羅里。太陽は山から昇るばかりだ。遠くから見れば、月が昇り始めたように見える。近くから見れば山の頂上の雪のようだ。絹糸で結び目を作る。羅唎。山の至るところで三逢曲が歌われている。暇な時に遠くから来た客人に会った。黄巢の養女はとても綺麗だ。他人を誘って絹糸の結び目を作る。羅唎。細かく作る。太陽は山から昇ったばかりだ。青い頭巾を眉の上まで被っている。スカートの上の絹の紐が腰を縛っている。身なりがきちんとしている。里

羅。4人の役人。まさに黄巢と女の人がいる。黄巢の養女は勇猛な者だ。馬の背に跨ると、刀や剣を使える。刀や剣を使う。ちょうど黄巢は戦場に入った。黄巢は亜兒寨を攻め破った。随分陣地に入ったが、つい失敗した。人の頭が地面に落ちた。羅唎。東に向かう川にいっぱい流れて来る水がない。お金で鶏の雛を飼う。それをもって家に帰ると、色々なものがある。色々なものがある。羅唎。五更に鳴く。あの娘の村まで鳴く声が聞こえると、秀才が現われる。あの娘の村で白馬に乗る。琉璃瓦の家。羅利。相公の家。大州の絹の頭巾を頭に被る。お金で黄陽鶏を買う。家にもって帰ると、グーゲーと鳴く。羅利。鳴くか、鳴かないか。鳴くか、鳴かないか、と紅珠に聞く。紅珠が鳴かないから、木の枝を折る。あいつは遠く松柏の木の上に飛び上がった。何度声を掛けても帰らない。手にもっている空の籠を木の枝に掛ける。お金で沈香樹を買う。それを多く家にもって帰ると、全部植えることはできない。羅唎。仏様の前で焼く。その沈香を焼くと、遠い大道まで香りが漂って行く。初めに、それは大切にされたが、今の世間では松柏でも大切にされないようになった。1本の道に松柏が生えた。羅唎。2本の道に生えたものは枯れた。1日中酒を飲むと、2日間も酔う。3日目に酒を飲まなくても酔うようになる。酒を飲む前に、酒を飲んだ後にでたらめなことばかりする。人間は酒を多く飲めば、他人を怒らせる。家に帰って年寄りに話して聞かせる。年寄りはそのことがだめだと言う。羅唎。馬の上でもっている琵琶を弾く。鯉は波について泳いで行く。風や波に乗って泳ぐ。魚を釣ってその卵を生ませる。羅唎。鯉は深い池に投げ込まれてから黄尾魚になる。秋の七月に竜について行く。羅唎。神州の竜は寒風に向かって水面を泳い

で行く。2匹の白い馬は真っ白なものだ。毎朝それに乗って、あの娘の門外を通ると、風流な者だと見られる。南安の寺に馬を預けておく。そこに誰もいない。若者は今そこに入った。羅唎。相公はそこに留まる。流れて来る水がないから、川は一面赤く見える。一对の燕が南の方へ飛んで行く。江華県で飛び回っている。燕は口に泥をくわえて江華県の中で飛ぶ。遠くから飛んで来て、敢えて鳴かない。燕は役所の中に巣を作った。主人の家には酒がある。羅唎。若者に食べ物を勧める。一对の燕が南の方へ飛んで行く。江華県で飛び回る。羅唎。帰りたくない。白い紙で手紙を書いて家に知らせる。黄紙路というところから客人が来た。客人を迎える。羅唎。若者の村に着いた。腰掛けに座る。箱を開けて、杯や皿を出す。家に酒がない。羅唎。銚子を空にしてはいけない。酒を注いで、遠方へ行く客人に捧げるから。上の方で刀を作るなら、林の中で泊まる。人々は旅人が泊まることを話す。若者はここに来て泊まる。羅唎。娘の部屋は綺麗なところだ。箱から苧麻の布団を出してから、人を遣わして客人の泊まる場所に送る。客人はそこに泊まる。寒い頃になると、故郷に帰って行く。この建物は初めに仙人が建て始めたものだった。3階の建物だ。羅唎。高い建物を建てる。一对の金鶏はその中にいる。前門や後門には、金の飾りがある。金の鍵、銀の箸。羅唎。金の杯。まさに祖先の洪爺の残したものだ。幼い頃から他のところに行くことはない。一筋の川がその中心にある。羅唎。砂もある。涙を流す。あの娘の村は遠いところにある。あの娘の村に泊まることができるかどうか。あの娘の村に泊まることができるなら、羅唎。帰りたくなる。白い紙で手紙を書いて家に出す。あの娘の村に泊まると、別れたくない。席に着いて酒

を飲む。羅唎。みるみるうちに風が吹いて来た。夜が明けると若者は帰って行く。また話をしているうちに涙があふれて来た。留められた。一緒にいたいのだ。羅唎。帰ることを考えたくない。若者の行く道が遠いからと心配する。黄巢は金の鎧に身を固める。金の甲と金の鎧。羅唎。脚交良。口に刀をくわえて、手に槍をもっている。千軍万馬で砦を攻める。九州十県をも攻め破った。人の頭が地面に落ちる。馬から落ちる音が聞こえる。まさに黄巢だ。黄巢龍は仙人に拝し、仙人に達し子となる。黄巢の手から放たれた。東京の12の砦が打ち破られた。多く的人是殺された。羅唎。長い間血が流れた。まさに黄巢のやりようはむごいものだ。黄巢は黒竜馬に乗る。羅唎。口に金刀をくわえる。口に金刀をくわえて人を殺す。大声で3回怒鳴ると、天地も震える。天が崩れ、地が震える。血みどろになる。江南の人々を殺し尽くすほどだった。黄巢は真の天子だ。生まれつきの天子だ。羅唎。俗世間に降りて来た。俗世間に降りてから休むことができない。頭に金の甲を被って、鎧に身を固める。手に竜剣をもっている。羅唎。州の役所に入る。州の役所に入ると、いつまでも保つ。天順2年に黄巢は反逆した。黄巢は反逆した。羅唎。刀や槍を整える。刀や槍を整えると戦場に入る。2月15日に砦を攻める。何もかも破壊した。羅唎。肝腸も裂くほどだった。君王から人民まで殺し尽くした後に故郷に帰った。黄蜂が門の横木の下で飛び回る。年寄りは何かを盗み食う。羅唎。2人は見た。黄蜂の蜜かもしれない。門の横木の下で飛び回る。羅唎。黄金を売る。黄金を売って、家に帰ってから婚約する。お金で青藤の箱を買う。家に帰ってから、娘の嫁入り道具などを箱に入れる。嫁入りする。羅唎。他郷に嫁入りする。他郷に嫁入りすると、大

人になった。手に箒をもって家の掃除をする。ちょうど、その家の部屋に花がある。黄色い桑の葉が門の横木の外に落ちる。家の前門の外に桑の新しい枝が出ている。7月にちょうど花が蕾を付けた。黄巢の養女は金の花のようだ。蓮の花を挿している。ある日、風がその家まで吹き込んだ。湖南にいる若者は夜によく眠れないだろう。羅利。着物が足りない。今若者は寒さに耐えて眠っているだろう。起きてから腰掛けに座る。手に酒杯をもつ。羅利。涙があふれ出る。羅利。流した涙が酒杯に落ちる。お金で詩官を買う。それをもって家に帰る。羅利。桑の新しい枝。7月が花の咲く頃だ。7月、8月に花が落ちる。嫌な風に吹かれた花が周りに落ちる。姉妹は誘い合って、手に手を取って出かける。お金で大州の傘を買う。買った傘をもって家に帰ると、他人に見せる。他人はそれを見る。羅利。傘の上に飾りがある。姉妹は誘い合って、手に手を取って出かける。今年はちょうど人々が願ほどきをする年となる。娘の部屋に集まる。羅里。その傘に花模様がある。お金で大州の笛を買う。買った笛をもって家に帰る。あの綺麗な娘が感動するように笛を吹く。今年はちょうど人々が願ほどきをする年となる。音を合わせて吹く。羅利。風流なことだ。まさに風流だから遠い他郷に行く。お金で大州の帯を買う。買った帯をもって家に帰ってから、他人に見せる。他人は出て見る。羅利。ようやく手に入れたものだと思う。今年はちょうど人々が願ほどきをする年となる。買った大州の帯を締める。羅利。肝腸が裂けるほど悲しい。ちょうど風流な者は遠い他郷に出かける。お金で白涼扇を買う。買ったものをもって家に帰ると、綺麗な花が咲いている。綺麗な花だ。気持ちがいい。真っ赤な柘榴の花が咲いている。お正月から、2、3月まで

他人は来て花を摘んで行く。羅利。姉妹は誘い合うのありがたいことだ。お金で長沙紙を買う。それをもって家に帰ると、何枚か分からない。その枚数を数えてみる。羅利。願を掛ける文を捧げる。願を掛ける文を籠に入れるはずだ。今年はまた人々が願ほどきをする年となる。広間から出る。羅利。今度の願掛けの文を師父に渡す。以前の願が解かれた。

事例2

湖南省江華瑶族自治县で収集された乾隆年間の手抄本を整理した『盤王大歌』（中国少数民族古籍瑶族古籍之一湖南少数民族古籍辦公室主編 岳麓書社 1987年）の「相逢賢曲」の部分。

「相逢賢曲」

细弯弯，便是日头初出山，远看便是初生月，
近前来看山头雪，双思结了（罗哩），满山头，
且唱三逢贤客来。润黄黄，那是日头初上山，
远远看去象明月，近午日象山头雪，日月照
亮（罗哩），满山头，且唱相逢贤客来。皇（王）
朝养女当风奇，手拿钱串银锁线，银眉银眼
罗哩，细弯弯，便是日头初出山，青丝头帕
拦腰过，金条罗带拦（蓝）腰伏，满身鍊（装）
果（作）罗哩，正官人，谁知黄（王）朝是
女人。王朝奇女多好看，手拿银珠颈挂链，
柳眉银眼（罗哩），细弯弯。好比日头初上山，
青丝头巾蓝腰带，又添金带缠腰间，一身打
扮（罗哩），像官人，谁信她是女钗裙。黄（王）
朝养女当猛勇，路（跳）上马背使刀枪，使
刀使枪罗哩，手条枪，正是黄朝入阵场，黄
（王）朝打破亚六寨，十分入阵也是败，头
断落地罗哩，脸向东，血水流来满海红，王
朝奇女多勇猛，跨马奔驰舞刀枪，挥刀舞枪
（罗哩），手舞枪。王朝奇女入战场，王朝攻
破亚六寨，亚六迎战仗仗败，人头落地（罗
哩），脸朝东，血水流来满地红。将钱去买
金鸡子，买归家来般般使，般般使罗哩，五

更啼，啼到娘村成秀才，娘村秀才骑白马，踏上白马琉璃尾，琉璃尾（罗哩），相公见，头带大洲罗伏系，拿钱买只小鸡子，好生料理好生喂，好生喂大（罗哩），五更啼，啼到妹村来报喜，妹村秀才骑白马，白鞍白马银丝尾，银丝马尾（罗哩），我得见，银丝玉线马头披。将钱去买琵琶玻，琵琶愁忆（罗哩），是双龙，思着风吹心欲容，疏罗接起真言语，讲去讲回（罗哩），琵琶弦，盘古流传千万年，拿钱去买琵琶弹，琴声沉沉扣心中。琴声含愁（罗哩），在弦中，风吹过来心难受，聪明接唱真言语，弹来唱去（罗哩），琵琶弦，从古流传千万年。将钱去买黄鸚鵡，买归家里声声叫，般般叫叫（罗哩），牢不牢，且问红丝牢不牢，红丝牢不牢打条断，远远飞上高松树，千声万欢（罗哩），不思归。手拿空笼挂树枝，拿钱去买黄鸚鵡，买回家中声声叫，鸟笼挂得（罗哩），牢不牢？笼钩红线也不牢。红丝断了笼甩破，鸚鵡飞上高松树，千呼万逗（罗哩），不愿回，手把空笼挂树枝。将钱去买沉（檀）香树，买归家里无沙数，无沙无数（罗哩），数不了，佛前前面把香烧，烧得沉（檀）香大路遥，拿钱去买檀香树，买回檀香无沙数，无沙无数（罗哩），数不了，殿中佛前把香烧，烧得檀香烟缭绕。当初不是当闲事，世今差入松林里，一枝生来（罗哩），二枝枯，松柏成林望久居。当初不该贪闲玩，今天落入松林里，一株松青（罗哩），一株枯，松柏成林望久居。一日饮酒二日醉，三日不饮酒还醉，酒前酒后（罗哩），败人身，酒盏多杯触坏人，归家说报老人听，老人讲句罗哩，不闻难，手把琵琶上马弹，一日饮酒二日醉，三日不饮酒还醉，筵中酒醉（罗哩），伤人身，酒盏多杯醉倒人。回家讲给老人听，老人说句（罗哩），好为难，手拿琵琶上马弹。鲤鱼彪彪随水上，随来贵地听风浪，捕鱼生子（罗哩），点鱼谱，正是深潭黄尾鱼，交秋七月随水去，随去回龙（罗哩），到龙州，一

对寒鹏水面游，鲤鱼游游逆水上，游到贵地听风浪，鱼人捕鱼（罗哩），点鱼谱，点着深潭黄尾鱼，交秋七月顺水去，顺着江水往下游，顺水下游（罗哩），到龙州，一对寒鹏水面游。一双白马真白马，朝朝骑马过娘门，一人去看（罗哩），二人看，好作风流把你看，南安寺里贼马反，无人入阵无人押（压），郎来入阵（罗哩），押相公，血水流来满海红，一双雪白好骏马，朝朝骑马过妹门，你也来看（罗哩），他来看，威武后生人人看。南安寺内贼马乱，无人出阵无人战，郎来入阵（罗哩），杀贼马，血水流来遍地红。一双燕子飞南上，飞来飞去入江华，口含泥，路远飞来不敢啼，燕子结窝官厅底，主人有酒（罗哩），欢郎饮，便是主人回酒难，一双燕子飞南上，飞来飞入江华县，江华县里（罗哩），不思归，白纸写书归报屋，一双燕子向南飞，飞来飞去到江华，口含泥，路远飞来不敢啼。燕子做窝大厅里，主人摆酒（罗哩），劝郎饮，郎无好酒难回敬。一双燕子向南飞，一飞飞到江华县，来到江华（罗哩），不想归，一纸家书把音回。黄昏路遥谢客到，且得好客（罗哩），到娘村，坐得凳头凳尾圆，开箱拿出双杯盏，家中无酒（罗哩），把空瓶，且得客人远路来。远乡客人黄昏到，远乡贵客（罗哩），到妹村，坐在堂中多俊美。开箱拿出双杯盏，家中无酒（罗哩），摆空瓶，亏待远方贵客人。上方打刀投林主，心心娘话过路宿，郎来宿夜（罗哩），好暖房，归去声传好暖房，客人宿夜（罗哩），好暖房，归去声传富贵乡，背刀进山投林主，真心请郎夜进屋，妹家宿夜（罗哩），妹房暖，郎回家中对人传。妹家宿夜（罗哩），好暖房，回去传扬富贵乡。上方打刀投林宿，心心娘话过路宿，郎来宿夜（罗哩），着霜寒，开箱牒出苧麻被，差上送客林里去，客人宿夜（罗哩），着霜寒，归家声传单薄乡，背刀进山投林主，真心情郎夜进屋。妹家宿夜（罗哩），冻霜寒，开箱拿出苧麻被，送给进山

远客睡。客人夜宿（罗哩），受冻寒，会说妹村贫苦乡。当初起屋仙人起，三层围外（罗哩），起高楼，一双金鸡在里头，门前门后金水镀，银锁银相（箱）（罗哩），便金杯，正是公爷坟墓催，古时房屋仙人造，三层围墙（罗哩），起高楼，一对金鸡在里头。前门后门镀金水，金锁银箱（罗哩），黄金杯，翁爷坟墓好风水。出世未成（曾）到别国，今世出国心中愿，一条江水（罗哩），二条沙，流落娘村成贵家，娘村好住不好住，娘村好住（罗哩），不思归，白纸写书归报家，错落娘村山水别，席中饮酒（罗哩），看无亲，起眼看见风流（过）云，天光早起郎归去，又听言语相留住，大家相伴（罗哩），过龙桥，思你思量郎路遥，生来没有到远乡，今天出乡心里欢，一江清水（罗哩），两行沙，郎来妹村成了家。妹村地方真是好，妹村真好（罗哩），不想归。白纸写信往家寄，离别故乡到妹村，席中饮酒（罗哩），想亲人，举目只见风流云。五更早起郎归乡，姊妹临别多情话，相爱相依（罗哩），过龙桥，牵肠挂肚郎路遥。

事例3

広西チワン族自治区の賀県で収集された『盤王大歌』（中国少数民族音楽古籍叢書之一盤承乾等収集整理 天津古籍出版社 1993年）の「三逢延曲」及び「三更深曲」「荷叶杯曲」の冒頭部分。

「三逢延曲」

罗哩连罗哩罗哩，连罗哩连哩啦哩。连罗哩，连连连罗啦哩，连罗啦罗哩罗哩。広州（哪）结子青罗结，四边罗外（哪罗哩）细湾湾，便是日头初出（哪）山，远看（哪）便是初生月，近前来看山头雪，双丝结子（哪罗哩）满山是。且唱三逢引客（哪）来。黄朝（哪）养女当风奇，手拿钱串锁银线，锁银锁线（哪罗哩）。细弯弯，便是日头初出（哪）山，青丝（哪）头巾拦眉过，金线罗带拦腰

缚，满身装裹（哪罗哩）。是官人，谁识黄朝女（呀哪）人，黄朝（哪）养女能猛勇，踏上马背使刀剑，抛刀抛剑（哪罗哩）使条枪，正是黄朝入阵（哪）场，黄朝（哪）打破亚六寨，十分入阵也是败，断头断脚（哪罗哩）。面向东，血水流来满海（哪）红。将钱去买金鸡子，买回家里般般使，般般使使（哪罗哩）。五更（哪）啼，啼到娘村成秀（哪）才，娘村（哪）秀才骑白马，琉璃瓦厦（哪罗哩）。相公儿，将钱去买黄英（哪）鸡，买回家里般般叫，般般叫叫（哪罗哩）。牢不牢？且问红丝牢不（哪）牢？红丝（哪）不牢打得断，遥遥飞上高松树，千声万劝（哪罗哩）。不思归，手把鸟笼挂树（哪）枝，将钱（哪）去买檀香树，买回家里无沙数，无沙无数（哪罗哩）。佛前烧，烧起檀香来路（哪）远，当初（哪）不是等闲事，世今差落松林里，一枝生上（哪罗哩）二枝（哪）枯，松柏成林望久（哪）居，一日（哪）饮酒二日醉，醉前醉后（哪罗哩）。败人身，酒盏多杯触坏（哪）人，归家（哪）说报老人听老人说句（哪罗哩）。也为难，手把琵琶上马（哪）弹，鲤鱼（哪）漂漂随水上，错来贵地看风流。捕无生子（哪罗哩）甜无捕正是深潭黄尾（哪）鱼，交秋（哪）七月随龙去，随龙归去（哪罗哩）。到龙州，一对寒鹏水面（哪）流。一双（哪）白马真白马，朝朝骑过娘门外，一人出看（哪罗哩）二人看，好作风流把你（哪）看。一双（哪）燕子飞南上，飞来飞去江华县，江华县里（哪罗哩）。口含泥，远路飞来不敢（哪）啼。（哪罗哩）燕子（哪）结窝官厅底，主人有酒（哪罗哩）。劝郎饮，便是客人回酒（哪）难，黄昏（哪）路远客来到，但得好客（哪罗哩）。到郎村，坐落凳头凳（哪）圆，开箱（哪）揀出双杯盏，家中无酒（哪罗哩）。把空瓶，但得客人远路（哪）行。上村（哪）打刀投林宿，声声娘话过路宿，娘来宿夜（哪罗哩）。好暖房，归去声传好暖（哪）房，开箱（哪）

揲出双黄被,差人送上客林里,客来宿夜(哪罗哩)。好暖房,归去声传富贵(哪)乡,上方(哪)打刀投林宿,声声娘话过路宿,郎来宿夜(哪罗哩)。着霜寒,归去声传着霜(哪)寒。开箱(哪)揲出芋麻被,差人送上客林里,客人宿夜(哪罗哩)。着霜寒,归去声传单薄(哪)乡,当初(哪)起屋仙人起,三层四层(哪罗哩)。高楼起,一对金鸡在里(哪)头,前门后门金水镜,银勺银箱(哪罗哩)。使金杯,正是公爷坟墓(哪)推,出世(哪)不曾到别国,世今出国心中愿,一条江水(哪罗哩)。二条沙,流落娘村成贵(哪)家,娘村好住不好住?娘村好住(哪罗哩)。不思归,白纸写书归报(哪)家,错落哪娘村清水边,席中饮酒(哪罗哩)。看无亲,起眼便看风过(哪)云,天光(哪)早起郎归去,又听人言相留住,大家相伴(哪罗哩)。过金桥,思你思量郎路(哪)遥。

「三更深曲」

连罗啦哩哩啦哩连罗啦哩离,连罗,连啦哩,哩啦哩连啦哩啦离。(後略)

「荷叶杯曲」

啦哩连罗姿啦哩,连罗哩连罗啦哩,连罗啦哩哩连罗,连连啦哩哩罗哩。荷叶杯中双百武,白鹤青山松柏树能水能海又能龙,(後略)

事例4

1960年代に広西チワン族自治区大瑤山瑤族自治県三角公社で収集された『盤王歌』(広西民族学院中文系民族民間文学教研究翻印 1980年)の「第二三峯寒曲」部分。

「第二三峯寒曲」

广州结于青罗结 四边嬌起银锁绵
锁眉锁眼那囉噶 细湾湾
便是日头初出山 远看便是初生月
近前看来山头雪 桑絲结子那囉噶
满山是 且唱三逢人客来

黄巢養女當风哥 手拿钱串银鎖*1绵
锁眉锁眼那囉噶 细湾湾
便是日头初出山 青蘿头巾開眉过
一条羅帶開腰縛 满身装裹那囉噶
是官人 不识黄巢是女人
黄巢養女能猛勇 踏上马背使刀钮
使刀使钊那囉噶 手条搶
正是黄巢入陣場 黄巢打破猶兇寨
十分八陣也是○ 断头落地那囉噶
面向東 血水流来满海红
将钱去 金鸡子 買妇好家里般般使
般般使使那囉噶 相公兒
头带大剌羅副系
将钱去买黄鷄鷄 买妇家里般般叫
般般叫叫那囉噶 劳不劳
借向紅絲劳不劳 紅絲不劳打断条
远远飞向高松树 于声乃劝那囉噶
不思归 手把空龙挂树枝
将钱去买沉香树 买归家里无沙数
无沙无数那囉噶 佛前烧
烧得沉香来路遥 当初不知当闲事
世人错落松林里 一枝生上那囉噶
二枝枯 松柏成林望火居
将钱去买滕箱○ 买归家里粧娘嫁
粧娘出嫁那囉噶 嫁人家
嫁落人郷不望归 手拿黄稈扫人屋
扫人扫屋那囉噶 是人家
正是○房內里花 广州路口逢官女
路逢官女口含笑 一心作笑那囉噶
二心鬼 思着当初年笑時
当初不知少年事 少年少事那囉噶
更少年 更鼓流传千万年
将钱去买好官○ 十分伶俐那囉噶
嫩相系 十五花开正作時
十七十八人来摘 风吹落地那囉噶
○含紅 头插石榴*2花一弓
黄桑落葉門前处 前門架下那囉噶
嫩桑系 十五花开正着時
十七十八人来摘 风吹落地那囉噶

落四边 姐妹齐齐坐酒筵
 一日饮酒二日醉 三日饮酒成酒醉
 酒前酒后那**啰嚩** 敗人身
 酒盏多盃噉怒人 归家说扳老人聽
 老人说句那**啰嚩** 不聞难
 手把琵琶上马○
 鯉魚立立隨水上 錯来貴地聽风浪
 鮪魚生子那**啰嚩** 甜魚補
 正是滌潭黃尾魚 交秋七月隨龍去
 隨龍归去那**啰嚩** 到龍州
 一○寒峰水石遊
 一双白馬真白馬 朝朝騎过娘門處
 一人出看那**啰嚩** 二人看
 好作风流把你看 南安寺里賊馬反
 無人八陣無人押 郎來八陣那**啰嚩**
 押相公 血水流來滿海紅
 一双燕子飛南上 飛來飛入江華縣
 江華縣裡那**啰嚩** 口含坭
 远路飛來不敢啼 燕子結兜官厅底
 远路飛來不敢啼 燕子結兜官厅底
 主人無酒那**啰嚩** 劝郎○
 郎是客人會酒難 黃昏路遥謝客到
 謝有好客那**啰嚩** 到郎村
 坐落橙頭橙尾圓
 開箱牒出双盃盞 家中無酒那**啰嚩**
 把空瓶 劳动客人远路行
 上方打刀投林宿 心心人話过路宿
 郎來宿夜那**啰嚩** 好嫩房
 归去声傳好嫩房 開箱牒出黃涼被
 差人送上客林里 客人宿夜那**啰嚩**
 好嫩房 归去声傳富貴乡
 上方打刀投林宿 心心人说过路宿
 郎來宿夜那**啰嚩** 作霜寒
 归去声傳作雪寒 開箱牒出茅麻被
 差人送上客林里 客人宿夜那**啰嚩**
 作霜寒 归去声傳單遵乡
 当初起屋仙人起 三曾四任那**啰嚩**
 起高樓 一對金雞在里头
 前門後門金水渡 銀匙銀筋那**啰嚩**

使金盃 正是翁爺祖墓推
 出世不成到別國 世今到國心中願
 一条江水那**啰嚩** 二条沙
 流落娘村成远家 娘村好住不好住
 娘村好住那**啰嚩** 不思归
 白紙造書归扳家 錯落娘村清水別
 席前飲酒那**啰嚩** 看元亲
 起眼看天使云过 天光早起郎归去
 又作言語相番住 大家相伴那**啰嚩**
 过龍橋 思你思○郎路遥
 日头出早光陀索 夜眠不睡那**啰嚩**
 无衣遮 姐妹齐齐无衣遮
 五更鳴啼去樣早 埠*3頭担水那**啰嚩**
 逢着双 思你思量逢着双
 远乡好藕*4伏問子 受寒受冷那**啰嚩**
 淚双流 思着当初共讀書
 日头出早光陀索 夜眠不睡那**啰嚩**
 无好衣 姐妹齐齐无好衣
 今朝出門无被副 空身行路那**啰嚩**
 脚飄飄 脚踏娘村水步橋
 娘村也有好过藕 前茶來等那**啰嚩**
 过郎心 飲盞清茶当兩金
 廣州路口逢官○ 路逢好○那**啰嚩**
 是真仙 端正風流能雜金
 十七十八撩人愛 世今老了那**啰嚩**
 更聰明 旧後人傳声过京
 將錢去买好官○ 路逢官○口含笑
 暗中含笑那**啰嚩** 嫩相索
 十五花開正着時 十七十八人來摘
 風吹落地那**啰嚩** 能蓮花
 有日風吹到你家
 鯉魚立立隨水上 逢作黃獺那**啰嚩**
 ○滩頭 黃獺入灣心里愁
 蛋家刺網滩頭○ 鯉魚作網那**啰嚩**
 不望归 不望鯉魚轉海归
 *1 金が海
 *2 日が田
 *3 十が下半分を占める
 *4 田が日

事例5

資興市の宗教職能者所有の乾隆間の銘がある手抄本の『大堂書』の「又唱第二圍三逢閑曲起」部分。

「又唱第二圍三逢閑曲起」

廣州結子青羅結 四邊離○ 羅离
 細 湾 湾 便是日頭初出山
 遠鄉便看初生月 近前来看山頭雪
 桑系結子 羅离
 滿 山 事 且唱三条閑客来
 黃朝養女雷風奇 手拈錢串有鎖綿
 鎖○鎖綿 羅离
 細 湾 湾 便是○看初出山
 青羅头巾欄眉过 金陷羅帶闌腰縛
 滿身粧遇 羅离
 是 官 人 正是黃朝是女人
 黃朝養女能猛虎 踏上馬背教刀劍
 教刀教劍 羅离
 ○ 條 鎗 正是黃朝入陣場
 黃朝打破押女子 十分入陣也是敗
 頭断落地 羅离
 面 向 東 血水流来滿海紅
 將○去買金雞子 買婦家里般々死
 般々便々 羅离
 五 更 啼 啼到娘村成秀才
 娘村秀才騎○馬 元○○○○○
 相 公 兒 頭戴大州羅伏系
 將○去買鴛鴦鷄 買婦家裡般々叫
 般々叫々 羅离
 勞 不 勞 且問紅系勞不勞
 紅系不勞打條路 鴉鷄飛上高松柏
 千思萬勸 羅离
 不 思 婦 手把空籠掛樹枝
 將衆去買沉香樹 買婦家裡○沙数
 ○○○数 羅离
 佛 前 燒 得見沉香郎落遥
 雷初不是奇閑事 世今差落松裡林
 一枝生上 羅离
 二 枝 枯 松柏成林望九居

將衆去買隨官女 隨官隨女 羅离
 嫩 桑 枝 二月花開正看時
 交秋七月人来摘 風吹落地 羅离
 落 四 邊 正是姐妹花酒筵
 將衆去買青籐簍 買婦家裡裝外嫁
 裝娘去嫁 羅离
 嫁 人 家 嫁落人家不望婦
 朝々接稈婦人屋 掃人屋裡 羅离
 在 人 家 正是深房內裡花
 將衆去買黃油傘 黃油細傘 羅离
 傘 頭 齊 細傘原来衆抄多
 今朝好日还良願 担来人屋 羅离
 傍 人 家 細傘撐開都是花
 一日飲酒二日醉 三日不飲成酒醉
 醉前醉後 羅离
 敗 人 身 酒盞多盃得罪人
 婦家説報老人听 老人説句 羅离
 也 問 難 手把琵琶上馬彈
 廣○路口逢官女 逢官来到 羅离
 到 ○ 廷 来到州廷不敢啼
 新官又問旧官事 旧後説句 羅离
 管 ○ 廷 单怕事多立不完
 廣州路口逢官女 逢官好女 羅离
 嫩 女 系 正是桃源洞口時
 桃源洞逢官女 一心作笑 羅离
 二 心 思 思着當初年少時
 廳前種蕪楓木樹 隨根生上 羅离
 尾 頭 垂 正是娘村姐妹多
 娘村姊妹齊々種 樹上結子 羅离
 眼 泪 落 人能官舡撐过河
 鯉魚立々隨水上 錯来貴地看風流
 捕魚生子 羅离
 甜 魚 捕 正是深潭黃尾魚
 交秋七月隨龍去 隨龍婦去 羅离
 到 龍 州 一對寒風水面遊
 鯉魚立々隨水上 一双魚獺 羅离
 ○ 灘 頭 魚子入潭心裡愁
 蛋家結網灘頭奇 鯉魚着網 羅离
 看 着 網 不望鯉魚不海婦

一双白馬貞白馬 朝々騎遇外門外
 一人出看 羅离
 二 人 看 好作風流把一箸
 寅卯二年〇〇夜 〇人入陣也是〇
 郎今入陣 羅离
 押 相 公 血水流来滿海紅
 一双燕子飛南上 飛来飛去紅河縣
 江河縣裡 羅裡
 口 含 〇 遠路飛来不敢啼
 燕兒結甕官厅下 主人有酒 羅离
 觀 娘 飡 便是人家飲酒難
 一双燕子飛南上 飛来飛入江華縣
 江華縣裡 羅离
 不 敢 歸 白紙写書歸報家
 黄昏路遥接客到 接得好客 羅离
 到 郎 村 座落橙頭橙尾員
 開箱牒出双茶盞 家中〇酒 羅离
 把 空 〇 謝得主人遠路行
 上方打刀殺林宿 心々人話遇路宿
 郎来宿夜 羅离
 好 嬾 房 歸去唻傳好嫩房
 開箱牒出黄良被 差人送上客林里
 客人宿夜 羅离
 好 嫩 房 歸去唻傳富貴鄉
 上方打刀〇林宿 心心人話遇路宿
 郎今宿夜 羅离
 着 霜 寒 歸去唻傳箸霜寒
 開箱貼出苧蔴被 差人送上客林裡
 客人宿夜 羅离
 箸 霜 寒 歸去唻傳淡溥鄉
 當初起屋仙人起 三層四外 羅离
 起 高 樓 一對金鷄在裡头
 前門後門金水度 銀匙銀筋 羅离
 〇 金 盃 正是公〇坟塚催
 出小不曾到別國 世今別國心中愿
 一條江水 羅离
 二 條 沙 流落娘村成冤家
 娘村好住不_久住 娘村好住 羅离
 不 恩 歸 白縞写書歸報家

箸落娘村清水別 一条清水 羅离
 看 吾 親 起眼便看風遊去
 天光早起郎歸去 又聽言語相留住
 大家相伴 羅离
 遇 龍 橋 思你思量郎路遥
 今朝出門無被伏 夜眠不睡 羅离
 郎 〇 〇 行列娘村水步橋
 娘村步橋有对我 煎茶来奇 羅离
 娘 有 心 飲盞清茶當两金
 娘村鷄啼去〇早 主人門下 羅离
 遠 路 郎 正是遠鄉遠路郎
 遠鄉路郎愉報子 好人貴客 羅离
 眼 淚 落 思着當初共学堂

事例6

ドイツバイエルン州立図書館No.200『盤
 王大路書』の「第一黄條沙曲段」「第二三
 風寒曲」「第三万段曲」「第四荷葉盃曲」「第
 五南江来」「第六湖江南曲」「第七梅花大碗
 曲」の冒頭部分。

第一黄條沙曲段

刺唻連羅利唻唻連羅唻唻々刺唻羅
 唻連羅利唻唻々刺利

第二三風寒曲

唻唻連羅羅唻唻唻唻唻唻唻唻唻唻々
 唻唻連羅唻唻々羅利那

第三万段曲

連羅唻唻々唻唻々々連羅唻唻唻唻唻
 囉唻唻唻唻唻唻唻連羅唻唻唻唻那亦詩

第四荷葉盃曲

唻唻連羅唻唻唻連羅唻唻連羅唻唻
 唻〇連羅唻唻唻

第五南江来

唻唻連羅唻連羅唻唻唻唻唻唻唻唻唻々
 唻唻連羅唻唻唻々那离

第六湖江南曲

唻唻連羅刺利連羅刺利連羅离

第七梅花大碗曲

五唻唻唻五連羅唻唻唻唻唻唻唻唻唻唻唻

喇喇々喇礼五連羅喇喇々那連羅喇喇
礼喇离

現段階で以上の事例から「囉哩噠」の意味付けをすることはできないが、現在も伝承され、さらに儀礼で使用されているヤオ族の『盤王大歌』には普遍的に取り入れられている。しかし、全体にちりばめられているのではなく、七任曲と称される曲調を異にする7つの歌が挿入されている、中でも相逢覧、三峯寒、三逢閑曲と題されるほぼ内容の一致する部分に必ず入れられていることが分かる。冒頭部分に置かれるか、歌の合間に置かれるかの相違があるのは、呪術的な意味がはっきり出されているものと曲調を整えることに主な目的が置かれていることの差と考えられる。いずれにしても今後これを糸口にして、千年にわたり現在まで民族や地域を超えて広く伝承の確認されている歌の中の「囉哩噠」を追求していきたい。もしかすると日本の翁の神歌の冒頭部分「とうとうたたりたたりら、たたりあがりららりとう、ちりやたたりたたりら、たちりあがりららりとう」の解明に繋がるかもしれないからである。

注

- (1) 『民俗曲藝』第124 民国89年（2000年）pp. 1～41。
- (2) 廣田律子『中国民間祭祀芸能の研究』第三部第二章「中国湖南省ヤオ族儀礼の道教的性格——湖南省藍山県馮家実施の還家愿儀礼」風響社 2011年 pp.317～385 参照のこと。
- (3) 全文及び訳は「盤王大歌——旅する祖先」万葉古代学研究所年報9号 2011年 pp.167～216。